

平成30年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 平成30年 4月17日（火）

2 調査対象 第3学年生徒22名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査（国語A、国語B 数学A、数学B 理科）

Aは主として「知識」に関する問題、Bは主として「活用（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力）」に関する問題です。

(2) 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語A（主として知識に関する問題）…全国平均を下回りました。
 国語B（主として活用に関する問題）…おおむね全国平均と同程度でした。
 数学A（主として知識に関する問題）…全国平均を下回りました。
 数学B（主として活用に関する問題）…全国平均を下回りました。
 理 科 ……………全国平均を下回りました。

(2) 生徒質問紙調査

成果が見られた項目

- 家で学校の授業の予習・復習をしていますか。
- 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。
- 1、2年生までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか。

課題が見られた項目

- 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。
- 地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか。
- 新聞を読んでいますか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果で国語Bはおおむね全国平均と同程度、それ以外の科目は全国平均を下回っており、基礎基本の確実な定着を図るとともに話し合い活動を通して自分の考えを深めていく必要があります。そこで、「南相馬の授業スタイル」をもとに次の3点について重点的に取り組んでいきます。

- ・話し合い活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりする言語活動を設定する。
- ・適用とまとめの時間を確保し、本時の学習内容の確実な定着を図る。
- ・図書館を活用し、読書や新聞を読む機会を増やし読解力育成や時事問題の関心を高める。

6 保護者・地域の皆様へ

生徒の学習環境・生活環境づくりについて、次の点で家庭や地域の方々のご協力をお願いいたします。

- 規則正しい生活をおくることで、落ち着いて家庭学習や読書に取り組ませる。
- 地域行事等への参加により、身の回りの出来事に関心を高める。